

大阪大学

大学院理学研究科・理学部

PROFILE 2022

Graduate School of Science,
Osaka University School of Science,
Osaka University PROFILE 2022



数 学

物 理 学

化 学

生 物 科 学

高 分 子 科 学

宇 宙 地 球 科 学



C O N T E N T S

■ はじめに 大阪大学大学院理学研究科長・理学部長 深瀬 浩一	1
■ 沿革	2
■ 受賞等	3
■ 歴代研究科長・学部長	4
■ 運営組織	
■ 組織	5
■ 教職員数	
■ 学生数	6
■ 入学者状況	7
■ 学部卒業者数	
■ 大学院学位授与者数	
■ 国際交流	8
■ 財務状況	10
■ 外部資金受入額	
■ 特許件数	11
■ 特色ある研究	
■ 豊中キャンパスMAP	12
■ 理学研究科MAP	13
■ アクセス	

はじめに

大阪大学大学院理学研究科長・理学部長

深瀬 浩一



大阪大学は地元財界の全面的な財政的支援を受け、昭和6年(1931年)に国内で6番目の帝国大学として創設されました。当初は、医学部と理学部の2学部でしたが、昭和8年(1933年)に工学部を加え、3学部からなる総合大学となりました。初代総長は、土星型原子模型を提唱したことで有名な物理学者の長岡半太郎博士であり、漆の研究で有名な眞島利行理学部長の下、代数学の正田建次郎、八木アンテナを発明した八木秀次、X線構造解析の仁田勇、原子物理学の菊池正士などの諸先生が集い、若々しい理学部の活発な研究を支えました。その後、まだ学位を持たない湯川秀樹氏が講師として加わり、中間子論の研究を行って本学で博士号を取得されました。まさにその研究成果が、後に、日本初のノーベル賞に輝いたのです。それから現在に至るまで、理学部は『勿嘗糟粕(そうはくをなむるなかれ)』という長岡半太郎博士の言葉を精神的規範とし、世界に先駆けた独創的な研究と教育を続けています。



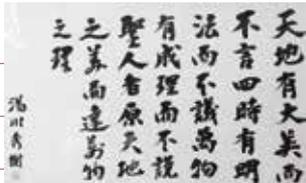
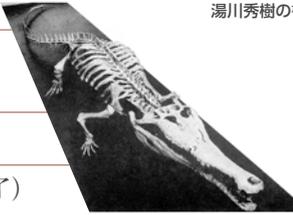
長岡半太郎博士の揮筆によるもので「勿嘗糟粕」糟粕(そうはく)を嘗(な)むる勿(なか)れと読み、「つねに創造的であれ」といった意味である。

現在の理学研究科・理学部は、6専攻4学科からなり、約220名の専任教員、約1200名の学部学生、約900名の大学院生を擁し、大阪大学の中でも大きく、中核的な部局の一つです。平成16年度(2004年度)の国立大学法人化の際には、迅速な意思決定を行うべく、それまでの教授会の機能の一部を、専攻長・学科長合同会議で代行することを決めました。また、研究科長と4-5名の副研究科長及び事務長、事務長補佐からなる企画調整会議を組織し、研究科の管理運営に係る企画や予算配分などについての立案を行っています。

平成23年(2011年)10月1日には、基礎研究の中から大型プロジェクトとして推進されるような発展性の高い研究を支援する教育研究施設として、『基礎理学プロジェクト研究センター』を設立し、基礎理学、産学連携、学際融合など多様な大型プロジェクト研究を活発に進めています。平成29年(2017年)2月には、このセンターの活動拠点となる新しい建物(理学J棟)が完成し、南部陽一郎ホール(2F)で、公開講座サイエンスナイトなど社会との連携を図るさまざまな企画により、理学研究科を開かれたものとする活動が展開されています。

学問分野としての理学は、歴史があり、自然科学のフロンティアを常に探求して、新たな真理の発見と新しい概念の構築に貢献してきました。現在の最先端の科学技術の多くは理学の成果をもとに発展したものであり、現在でも絶えず理学(基礎)から工学(応用)へ、研究テーマの移動が起っています。純粋な興味から出発した研究成果が、視点を変えると社会に役立つ技術になりうるという例は、枚挙にいとまがありません。その意味で、理学はすべての科学の源となる「泉」のような存在であると言えます。自然界の「不思議」に目を向け、その謎解きに真剣に取り組むという理学者精神を、理学部・理学研究科のすべての教員と学生が共有し、また次の世代に引き継いでいきたいと思ひます。

沿革

昭和6年	5月	大阪大学理学部は、全国6番目の帝国大学として大阪帝国大学発足と同時に医学部と共に大阪市北区常安町（現北区中之島4丁目）に創設	
昭和7年	10月	数学、物理学、化学の3学科発足	 <p>昭和6年5月開学式</p>
昭和8年	4月	理学研究科は、旧制大学院学生受け入れ	
昭和24年	6月	生物学科新設	 <p>旧理学部 中之島</p>
昭和27年	4月	生物学科大学院学生受け入れ	
昭和28年	4月	数学系1、物理学系3、化学系2及び生物学系2の計8専攻で新学制による理学研究科修士課程発足	 <p>湯川秀樹の書</p>
昭和30年	4月	博士課程の学生受け入れ	
	7月	附属原子核研究施設（昭和53年度原子核実験施設）設置	 <p>マチカネワニ化石</p>
昭和31年		附属蛋白質研究施設（昭和33年蛋白質研究所）設置	
昭和34年	4月	高分子学科新設また、理学研究科博士課程が発足 極低温実験施設（昭和46年低温センター）設置	
昭和38年	4月	高分子学専攻新設	
昭和39年	4月	理学部が豊中地区へ移転を開始（昭和41年3月に移転完了） 理学部本館建設工事中に「マチカネワニの化石」を発見	
昭和41年	4月	物理学系3専攻（原子核宇宙線学、物性学、物理実験学）を物理学専攻に統合	
昭和54年	4月	附属化学熱学実験施設（平成元年度附属ミクロ熱研究センター・平成11年度附属分子熱力学研究センター・平成21年度附属構造熱科学研究センター・平成31年度附属熱・エントロピー科学研究センター）設置	
昭和55年	4月	超強磁場実験施設 （昭和62年度極限物質研究センター・平成8年度極限科学研究センター・平成18年度極限量子科学研究センター・平成26年度附属先端強磁場科学研究センター）設置	 <p>F棟（正面玄関）</p>
平成3年	4月	宇宙・地球科学科新設	
平成6年	4月	数学、物理学、化学、生物学、高分子学、宇宙・地球科学の6学科 教養部廃止と共に、理系教官の大部分が理学部に合流し、 入学から卒業まで一貫教育を行う体制が確立	
平成7年	4月	宇宙地球科学専攻（修士）新設	
平成8年	4月	大学院重点化が行われ数学専攻（6大講座）、物理学専攻（5大講座） 化学専攻、生物科学専攻、高分子科学専攻及び宇宙地球科学専攻 （3大講座）の6専攻からなる新しい理学研究科が発足	
平成9年	4月	宇宙地球科学専攻（博士）新設	
平成11年	4月	附属原子核実験施設の大学院附属化（学部から研究科へ移行）	
平成16年	4月	国立大学法人大阪大学に移行	 <p>本館（外観）</p>
平成18年	4月	生物学科は、生物科学科に名称変更	
平成20年	4月	生物科学科に生命理学コース新設	
平成23年	10月	附属原子核実験施設が核物理研究センターと統合 附属基礎理学プロジェクト研究センター（平成27年7月拡張改組・令和4年度附属 フォアフロント研究センター）設置	

受賞等

<国際賞>

ノーベル賞

氏名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
湯川 秀樹	物理学賞『中間子の存在を理論的に予言』	1949

ウルフ賞

氏名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
佐藤 幹夫	数学部門『代数解析学の創始、「超関数と超局所関数の理論、ホロノミック量子場理論、ソリトン方程式の統一理論を含む代数解析学の創造』	2002-2003

<国内賞>

文化勲章

氏名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
長岡 半太郎	物理学	1937
湯川 秀樹	原子物理学	1943
岡部 金治郎	電気工学	1944
眞島 利行	化学	1949
菊池 正士	原子物理学	1951
八木 秀次	電気工学	1956
赤堀 四郎	生物有機化学	1965
仁田 勇	結晶化学	1966
正田 建次郎	数学	1969

文化功労者

氏名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
湯川 秀樹	物理学	1951
岡部 金治郎	電気工学	1951
眞島 利行	化学	1951
菊池 正士	原子物理学	1952
八木 秀次	電気工学	1956
赤堀 四郎	生物有機化学	1965
仁田 勇	結晶化学	1966
正田 建次郎	数学	1969
佐藤 幹夫	数学	1984

恩賜賞・日本学士院賞

氏名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
湯川 秀樹	素粒子間の相互作用に関する理論的研究並びに宇宙線中の新素粒子Mesotronの存在に対する予言	1940
岡部 金治郎	磁電管に関する研究	1941
坂田 昌一	二中間子理論	1950
永宮 健夫	反強磁性体の理論的研究	1963
吉田 耕作	近代解析の研究	1967
角谷 静夫	函数解析の研究	1982

日本学士院賞

氏名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
眞島 利行	漆の主成分に関する研究	1917
功力 金二郎	抽象空間の研究	1939
仁田 勇	化学構造のX線的研究	1943
小竹 無二雄	毒物の化学的研究	1944
正田 建次郎	最近の抽象代数学に於ける研究	1949
吉川 秀男	昆虫類を材料とする遺伝生化学的研究	1952
中山 正	環論及び表現論に関する研究	1954
赤堀 四郎	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究	1955
千谷 利三	安定同位元素に関する研究	1956

氏名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
奥貫 一男	チトクローム系の研究	1968
神谷 宣郎	植物細胞の原形質流動及び水分生理の研究	1971
久保田 尚志	植物の苦味物質に関する研究	1975
関 集三	固体の構造熱力学的研究	1976
佐藤 幹夫	超関数の理論及びその応用	1976
田沢 仁	巨大藻類細胞の生理学的研究、特に細胞灌流法と細胞モデルの開発	1990
菅 宏	凝相における相変化と緩和過程	1995
金森 順次郎	遷移金属合金の強磁性理論	1996

紫綬褒章（受章時に理学研究科・理学部に所属していた方および、理学研究科・理学部出身の方）

氏名（受章年）				
千谷 利三（1965）	伏見 康治（1973）	伊達 宗行（1991）	原 富之（1994）	宮本 重徳（1996）
村田 一郎（1996）	中村 晃（1998）	原田 明（2006）	大貫 惇睦（2008）	吉森 保（2019）



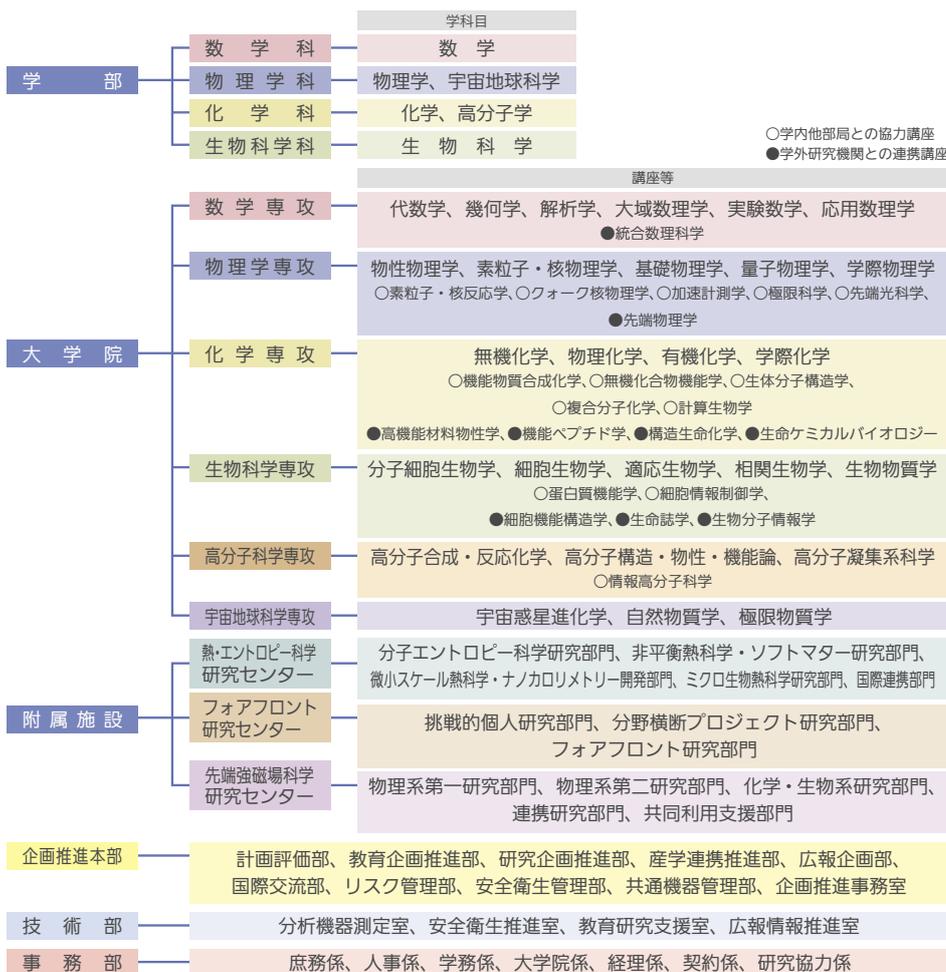
歴代研究科長・学部長

初代研究科長・学部長	眞島 利行	昭和 7年10月 1日 就任 昭和18年2月 3代総長
2代研究科長・学部長	八木 秀次	昭和 14年 3月31日 就任 昭和21年2月 4代総長
3代研究科長・学部長	仁田 勇	昭和 17年 3月31日 就任
4代研究科長・学部長	赤堀 四郎	昭和 22年 3月31日 就任
5代研究科長・学部長	正田建次郎	昭和 24年 3月31日 就任 昭和29年12月 6代総長
6代研究科長・学部長	赤堀 四郎	昭和 28年 7月 1日 就任 昭和35年12月 7代総長
7代研究科長・学部長	仁田 勇	昭和 30年 7月 1日 就任
8代研究科長・学部長	伏見 康治	昭和 34年 7月 1日 就任
9代研究科長・学部長	本城市次郎	昭和 36年 7月 1日 就任
10代研究科長・学部長	村橋 俊介	昭和 41年 7月 1日 就任
11代研究科長・学部長	本城市次郎	昭和 44年 6月16日 就任
12代研究科長・学部長	若槻 哲雄	昭和 44年 7月 1日 就任 昭和50年8月 10代総長
13代研究科長・学部長	松島 祥夫	昭和 49年12月 1日 就任
14代研究科長・学部長	内山 龍雄	昭和 53年 4月 2日 就任
15代研究科長・学部長	音在 清輝	昭和 55年 4月 2日 就任
16代研究科長・学部長	金森順次郎	昭和 56年 4月 2日 就任 平成3年8月 13代総長
17代研究科長・学部長	永尾 汎	昭和 60年 4月 2日 就任
18代研究科長・学部長	池中 徳治	昭和 63年 4月 1日 就任
19代研究科長・学部長	金森順次郎	平成 元年 4月 1日 就任
20代研究科長・学部長	村田 一郎	平成 3年 8月26日 就任
21代研究科長・学部長	伊達 宗行	平成 4年 4月 1日 就任
22代研究科長・学部長	松原 央	平成 5年 4月 1日 就任
23代研究科長・学部長	櫛田 孝司	平成 6年 4月 1日 就任
24代研究科長・学部長	宮西 正宣	平成 10年 4月 1日 就任
25代研究科長・学部長	森島洋太郎	平成 12年 6月24日 就任
26代研究科長・学部長	大坪 久夫	平成 14年 4月 1日 就任
27代研究科長・学部長	楠本 正一	平成 15年 4月 1日 就任
28代研究科長・学部長	小谷 眞一	平成 16年 4月 1日 就任
29代研究科長・学部長	東島 清	平成 20年 4月 1日 就任
30代研究科長・学部長	篠原 厚	平成 23年 8月26日 就任
31代研究科長・学部長	常深 博	平成 27年 8月26日 就任
32代研究科長・学部長	田島 節子	平成 29年 4月 1日 就任
現研究科長・学部長	深瀬 浩一	令和 2年 4月 1日 就任

運営組織

研究科長	深瀬 浩一	総括、基金、財務担当
筆頭副研究科長	近藤 忠	計画評価、社会学連携、広報担当
副研究科長	久保 孝史	国際交流担当
副研究科長	豊田 岐聡	研究推進、産学連携担当
副研究科長	西田 宏記	エネルギー対策、学生生活担当
副研究科長	藤原 彰夫	教育担当
副研究科長	水谷 泰久	研究推進担当
事務長	茶谷 孝三	
事務長補佐	清水 朋子	
事務長補佐	江田 勝彦	
専攻長		
数学専攻	石田 政司	
物理学専攻	黒木 和彦	
化学専攻	梶原 康宏	
生物科学専攻	松野 健治	
高分子科学専攻	山口 浩靖	
宇宙地球科学専攻	松本 浩典	
学科長		
数学科	石田 政司	
物理学科	黒木 和彦	
化学科	山口 浩靖	
生物科学科	松野 健治	
附属施設長		
熱・エントロピー 科学研究センター	中澤 康浩	
フォアフロント 研究センター	豊田 岐聡	
先端強磁場科学 研究センター	萩原 政幸	
技術長		
技術部	谷口 一也	

組織



教職員数

(2022年6月1日現在)

	教員等											事務職員	技術職員	図書職員	非常勤職員・嘱託職員	合計	
	教授	特任教授(常勤)	准教授	特任准教授(常勤)	講師	特任講師(常勤)	助教	特任助教(常勤)	助手	教員(非常勤)	特任研究員(常勤)						特任研究員(非常勤)
数学専攻	16		14		1		8			2	1	4			1	7	54
物理学専攻	14		12				18	1	1		1	3				12	62
化学専攻	12	4	9		6		17	2				5				15	70
生物科学専攻	9	1	5	1	1	1	13			1		8				14	54
高分子科学専攻	7		4		1		4	1			1	3				7	28
宇宙地球科学専攻	8		10				10				1	3				5	37
熱・エントロピー科学研究センター	1		1	1			1									1	5
フォアフロント研究センター	3		1				1			1	2	14				3	25
先端強磁場科学研究センター	1		1				1									1	4
企画推進本部					1		1										2
理工情報系オーナー大学院プログラム事務局																2	2
先導的量子ビーム応用卓越大学院プログラム事務局																1	1
なんでも相談室										1							1
湯川記念室																1	1
技術部														16			16
事務部													34		1	17	52
合計	71	5	57	2	10	1	74	4	1	5	6	40	34	16	2	86	414

学生数

学部

(2022年6月1日現在)

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計		合計
	男子	女子									
数学科	45	4	48	4	46	3	57	5	196	16	212
物理学科	65	15	72	8	71	7	105	8	313	38	351
化学科	60	23	56	27	63	14	76	18	255	82	337
化学科化学・生物学複合メジャーコース	0	0	0	0	0	1	1	2	1	3	4
生物科学科生物科学コース	24	9	23	10	19	17	29	11	95	47	142
生物科学科生命理学コース	15	10	20	3	21	4	27	6	83	23	106
生物科学科化学・生物学複合メジャーコース	0	0	0	0	1	1	2	1	3	2	5
合計	209	61	219	52	221	47	297	51	946	211	1,157

大学院 (博士前期課程 (修士課程))

(2022年6月1日現在)

	1年次		2年次		合計		合計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
数学専攻	20	0	23	2	43	2	45
物理学専攻	55	3	61	4	116	7	123
化学専攻	50	18	51	26	101	44	145
生物科学専攻	27	32	32	25	59	57	116
高分子科学専攻	17	12	21	11	38	23	61
宇宙地球科学専攻	28	2	32	7	60	9	69
合計	197	67	220	75	417	142	559



大学院 (博士後期課程)

(2022年6月1日現在)

	1年次		2年次		3年次		合計		合計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
数学専攻	7	0	4	0	14	1	25	1	26
物理学専攻	15	1	24	1	24	1	63	3	66
化学専攻	12	8	14	5	24	5	50	18	68
生物科学専攻	15	5	9	10	17	7	41	22	63
高分子科学専攻	1	0	5	0	6	0	12	0	12
宇宙地球科学専攻	2	1	6	0	9	1	17	2	19
合計	52	15	62	16	94	15	208	46	254



入学者状況

学部

(2022年度4月入学)

学科名	数学	物理学	化学	生物科学		合計
				生物科学コース	生命理学コース	
入学定員	47	76	77	55		255
志願者数	142	191	210	97	45	685
入学者数	49	80	83	33	25	270

大学院 (博士前期課程)

(2022年度4月入学)

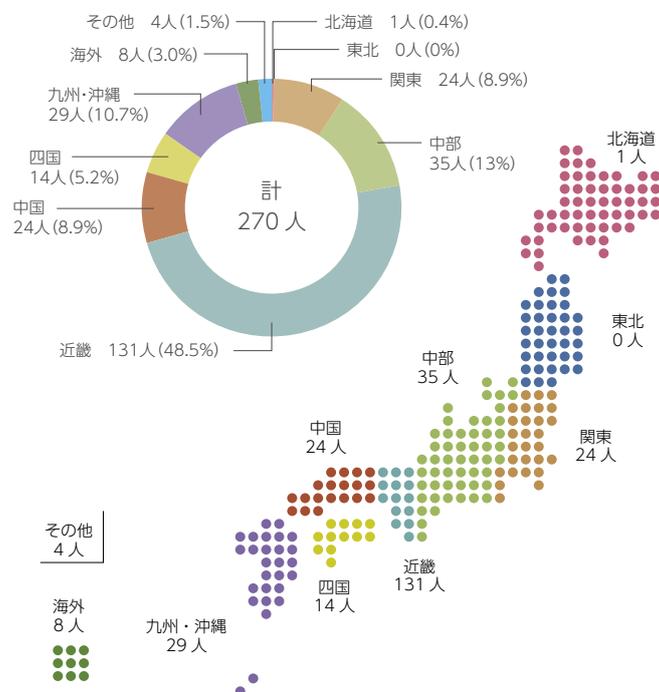
専攻名	数学	物理学	化学	生物科学	高分子科学	宇宙地球科学	合計
入学定員	32	68	60	54	24	28	266
志願者数	44	98	101	81	42	36	402
入学者数	20	54	65	54	29	30	252

大学院 (博士後期課程)

(2022年度4月入学)

専攻名	数学	物理学	化学	生物科学	高分子科学	宇宙地球科学	合計
入学定員	16	33	30	23	11	13	126
志願者数	7	14	10	18	0	2	51
入学者数	7	12	9	18	0	2	48

出身高校所在地別学部入学者数



学部卒業生数

卒業生数・進路状況

(2021年度)

学科名	数学	物理学	化学	生物科学	合計
卒業生数	46	77	75	54	252
卒業生累計					13,221
進学 (大学院)	22	65	62	47	196
就職 (企業等)	14	6	9	7	36
就職 (公務員)	0	1	1	0	2
就職 (教員)	5	0	0	0	5
就職 (計)	19	7	10	7	43

大学院学位授与者数

学位記授与者数

(2021年度に授与されたもの)

専攻名	数学	物理学	化学	生物科学	高分子科学	宇宙地球科学	合計
博士前期課程	22	62	64	79	26	20	273
累計							※10,806
博士後期課程							
課程	3	10	22	11	9	1	56
論文							
博士後期課程 (累計)							
課程	191	744	425	414	181	127	※3,062
論文							816

※は、新制学位授与者の累計

旧制学位授与者

..... 計 621



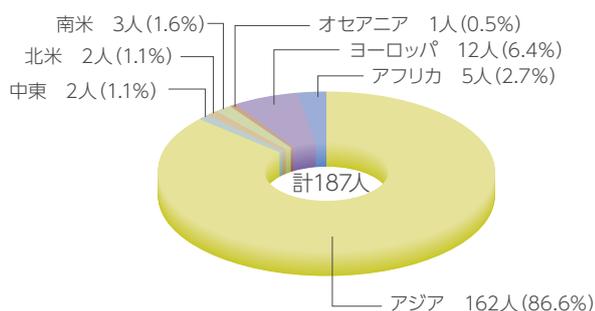
国際交流

外国人留学生数

(2022年6月1日現在)

国名	専攻等			数 学			物 理			化 学			生物科学			高分子科学		宇宙地球		非正規生		合計
	学部	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	学部	大学院													
ア ジ ア																						
インド									4			1	3								8	
インドネシア			1		1	1	2		8				1					1			15	
シンガポール												2								1	3	
スリランカ						1							1								2	
タイ									2			1	1		1					1	6	
大韓民国	1				2	1		1	2	2			3						1		13	
台湾					1						1										3	
中華人民共和國	1	1		10	10	5	7	16	12			13	10	3	2	2	1	2	1		96	
トルコ								1													1	
バングラデシュ						1															1	
フィリピン									1												1	
ベトナム						1	2		1	1											5	
香港							1	1													2	
マカオ									1												1	
マレーシア						1	1					1									4	
ミャンマー									1												1	
計	2	1	1	13	14	12	12	17	33	5	17	19	3	3	2	2	4	2			162	
中 東																						
イスラエル																			1		1	
イラン・イスラム					1																1	
計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		2	
北 米																						
アメリカ													1								1	
カナダ																			1		1	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0		2	
南 米																						
ブラジル						1						1									2	
ペルー									1												1	
計	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		3	
オセアニア																						
フィジー													1								1	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		1	
ヨ ー ロ ッ パ																						
スペイン						1															1	
ドイツ							1													2	3	
フランス							2		1							1			2		6	
ポルトガル																				1	1	
ルーマニア					1																1	
計	0	0	0	1	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5			12	
ア フ リ カ																						
エジプト									2	1											3	
ケニア													1								1	
マラウイ									1												1	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0		5	
総計	2	1	1	15	14	17	12	18	37	6	18	22	3	3	2	3	6	7			187	

外国人留学生受入状況



外国人研究者等受入者数

(2021年10月～2022年3月)

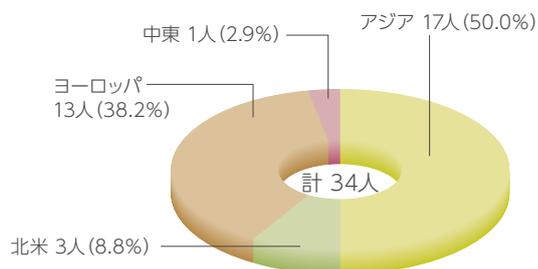
国名	受入人数
アジア	
インド	4
インドネシア	2
韓国	3
北朝鮮	1
タイ	1
台湾	1
中国	4
マレーシア	1
計	17
北米	
アメリカ	3
計	3
ヨーロッパ	
イギリス	1
イタリア	4
スペイン	1
ドイツ	2
フランス	1
ボスニアヘルツェゴビナ	1
ポーランド	2
ロシア	1
計	13
中東	
トルコ	1
計	1
合計	34

交流協定締結大学一覧:部局間協定

(2022年6月1日現在)

国名	相手大学等名	締結年度
アジア		
インド	タタ基礎研究所 (自然科学部)	2009
インド	インド工科大学ボンベイ (理学部)	2011
インド	デリー大学(理学部)	2012
インド	ムンバイ大学 (理学部)	2016
インドネシア	バンドン工科大学 (数学自然科学部)	2015
インドネシア	インドネシア科学院冶金・素材研究所	2016
インドネシア	パジャジャラン大学 (数学自然科学部)	2017
韓国	インハ大学 (理学部)	2011
タイ	スラナリー工科大学 (理学研究科)	2012
タイ	マヒドン大学 (理学部)	2017
タイ	チェンマイ大学 (理学部)	2017
タイ	チュラロンコン大学 (理学部/石油 石油化学カレッジ)	2019
台湾	国立台湾大学 (理学院・生命科学院)	2009
台湾	中央研究院 (遺伝子研究センター)	2016
台湾	国立清華大学 (理学部)	2018
台湾	国立陽明交通大学 (理学院)	2021
中国	蘭州大学 (物理科学技術学院)	2016
中国	南京大学 (物理学院)	2019
ベトナム	ハノイ国家大学 (ハノイ自然科学大学)	2009
ベトナム	ホーチミン市国家大学 (自然科学大学)	2010
ベトナム	ホーチミン市国家大学 (工科大学) (応用科学部)	2018
マレーシア	マレーシア工科大学 (理学部)	2009
中東		
トルコ	イスタンブール大学 (理学部)	2009
オセアニア		
オーストラリア	モナシュ大学 (理学部)	2017
北米		
アメリカ	メリーランド大学	2017
アメリカ	プリンストン大学	2019
アメリカ	ケンタッキー大学 (理学部)	2021
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学 (理学部)	2006
ヨーロッパ		
イギリス	インペリアル・カレッジ・ロンドン (自然科学部)	2006
イタリア	ペルージャ大学	2007
イタリア	ジェノア大学	2018
イタリア	ナポリ・フェデリコ二世大学	2019
オランダ	アインホフエン工科大学 (化学部・化学工学部/生体医療工学部)	2006
オランダ	トゥウェンテ大学 (電子工学・数理計算機科学研究科及び同学部)	2018
カザフスタン	アルファラビ・カザフ国立大学 (物理工学部)	2013
ドイツ	フリードリッヒ・ヴィルヘルム大学ボンとケルン大学による ボン・ケルン統合物理・天文大学院	2011
ドイツ	ブレーメン大学 (物理・電気工学科)	2012
ドイツ	ドレスデン工科大学 (理学部)	2014
ドイツ	フリードリッヒ・シラー大学イエーナ	2021
フィンランド	ユヴァスキュラ大学 (数学科学部)	2010
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学 (物理学部)	2015
アフリカ		
南アフリカ	南アフリカ天文台	2017

外国人研究者等受入者数



財務状況

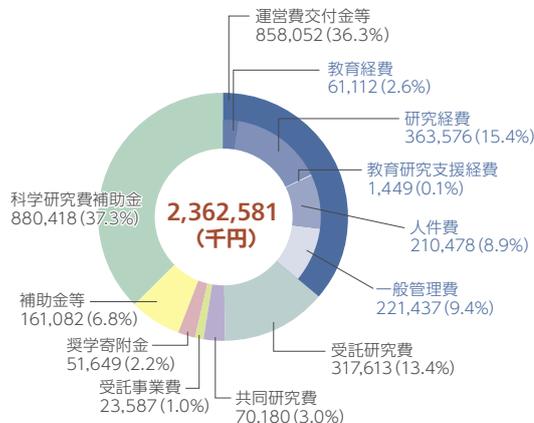
決算額

(2021年度/単位：千円)

経費区分		金額
運営費交付金等	教育経費	61,112
	研究経費	363,576
	教育研究支援経費	1,449
	人件費 ^(※1)	210,478
	一般管理費	221,437
受託研究費		317,613
共同研究費		70,180
受託事業費		23,587
共同事業費		0
奨学寄附金		51,649
補助金等		161,082
科学研究費補助金		880,418

※1 当研究科の予算で雇用している教職員の人件費を示しています。

※2 受託研究費以下の項目は、間接経費及び前年度からの繰越額を含みます。

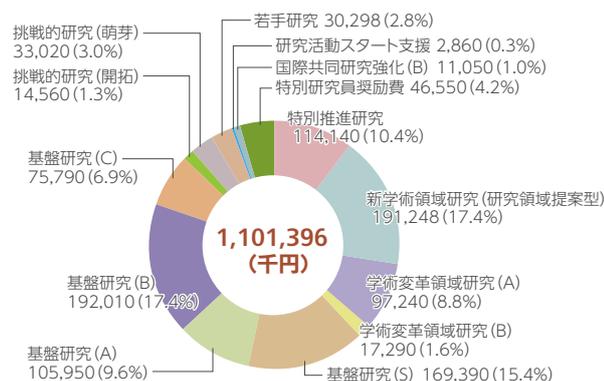


外部資金受入額

科学研究費助成事業

(2021年度/単位：千円)

研究種目	採択件数	交付金額
特別推進研究	1	114,140
新学術領域研究(研究領域提案型)	21	191,248
学術変革領域研究(A)	6	97,240
学術変革領域研究(B)	2	17,290
基盤研究(S)	5	169,390
基盤研究(A)	9	105,950
基盤研究(B)	46	192,010
基盤研究(C)	60	75,790
挑戦的研究(開拓)	3	14,560
挑戦的研究(萌芽)	13	33,020
若手研究	27	30,298
研究活動スタート支援	2	2,860
国際共同研究強化(B)	3	11,050
特別研究員奨励費	52	46,550
合計	250	1,101,396



その他の外部資金

(2021年度/単位：千円)

区分	受入件数	受入金額
共同研究	42	54,331
受託研究	22	282,415
奨学寄附金等 ^(※1)	53	56,864
合計	117	393,610

※1 現物寄附、寄附講座を含む

主な制度名・事業名等

区分	制度名	事業名等
共同研究	共同研究(国等)	
	共同研究(企業等)	
受託研究	未来社会創造事業	
	戦略的創造研究推進事業	CREST・さきがけ・ACT-X・AMED-CREST
	研究成果展開事業	OPERA
	創発的研究支援事業	
	医療研究開発推進事業費補助金	難治性疾患実用化研究事業
受託事業	保健衛生医療調査等推進事業費補助金	肝炎等克服実用化研究事業
	受託事業	学術相談 二国間交流事業 先端研究基盤共用促進事業
その他	その他補助金	橋渡し研究戦略的推進プログラム 官民による若手研究者発掘支援事業 外国人研究者招へい事業
		科学技術人材育成費補助金 研究大学強化促進費補助金 卓越大学院プログラム 次世代研究者挑戦的研究プログラム補助金 先端研究設備整備補助事業

特許件数 (申請件数)

2021年度

	数学	物理学	化学	生物科学	高分子科学	宇宙地球科学	基礎理学プロジェクト研究センター
国内	0	1	2	0	9	0	1
外国	0	0	0	0	2	0	1

特色ある研究

2021年度 プレスリリース

リリース日	研究内容	主な研究者
2021年 4月1日	3D立体映像の映写に必要な「円偏光」の新たな発光法を開発 3D表示用有機ELディスプレイ等の製造コスト削減に期待	化学専攻 山下 健一 講師
4月20日	物理であらった細胞内の秘密 RNAによる核内構造体形成の新たなしくみを発見 —細胞内の相分離、ミセル化が鍵?—	生命機能研究科 廣瀬 哲郎 教授 (理学研究科兼任)
4月28日	細胞核の「丈夫な構造物」という新機能の発見 —内臓を左右非対称な“形”にする細胞で一番「堅い」特性—	生物科学専攻 申 東善 氏(博士後期課程)、稲木 美紀子 講師、 松野 健治 教授
5月6日	“かくれんぼ”をしている銀河の発見	宇宙地球科学専攻 長峯 健太郎 教授
5月12日	汎用的で高感度!超臨界流体を用いた新分析法 —粉塵中の有害物質から生体高分子まで迅速かつ高感度に分析—	基礎理学プロジェクト 研究センター 豊田 岐聡 教授
5月14日	革新的な極性金属を発見! 電子のスピンと運動がロックした状態の制御に成功 —基礎研究から新しいデバイス応用へ—	物理学専攻 酒井 英明 准教授、黒木 和彦 教授、 花咲 徳亮 教授、 近藤 雅起 氏 (博士後期課程)
5月18日	植物が地上に繁栄できた鍵 —側根を作る幹細胞性を支配するタンパク質を発見—	生物科学専攻 柿本 辰男 教授、 Ye Zhang 氏 (研究当時:特任研究員)
5月18日	スピン流を簡単にon/offスイッチング —結晶を曲げるだけでトポロジカル相を自在に制御—	物理学専攻 越智 正之 准教授
6月14日	ネオン20原子核の新しい存在形態の発見 —低密度原子核物質の解明に向けて—	物理学専攻 足立 智 特任研究員、 川畑 貴裕 教授、古野 達也 助教
6月28日	霊長類細胞は二刀流で熱ストレスに対処する —RNA構造体による遺伝子発現制御機構の発見—	生命機能研究科 廣瀬 哲郎 教授 (理学研究科兼任)
7月9日	切断されたDNAをつなぎ直す、細胞の初動対応を解明 —がん耐性細胞の生成の仕組みや免疫疾患の原因の解明に期待—	生物科学専攻 磯部 真也 特任助教(常勤)、小布施 力史 教授
7月9日	明滅オーロラとともに起こるオゾン破壊 —宇宙からの高エネルギー電子が大気に及ぼす影響を実証—	宇宙地球科学専攻 横田 勝一郎 准教授
7月19日	リング状タンパク質PCNAのコピキチン化により 染色体異常が起きることを発見 —がん等の遺伝性疾患の治療薬開発に期待—	生物科学専攻 中川 拓郎 准教授、蘇 傑 氏 (博士後期課程)
7月27日	わずか数工程で均一な糖タンパク質の合成に成功 —分子を自在に操って、糖鎖をタンパク質へ化学的に挿入—	化学専攻 野村 幸汰 氏 (博士後期課程) / 日本学術振興会特別研究員(DC)、 真木 勇太 助教、岡本 亮 講師、 梶原 康宏 教授
8月25日	アルファ線を放出するナノ粒子による安定・安全ながん治療薬 —病巣に直接注入することで限局的な超低被ばくの治療が可能に—	化学専攻 基礎理学プロジェクト 研究センター Xuhao Huang 氏(博士後期課程)、 下山 敦史 助教、榊山 一哉 准教授、 深瀬 浩一 教授 豊嶋 厚史 特任教授
8月27日	遠い軌道を回る冷たい系外惑星が 銀河系内の広い範囲で存在することを解明	宇宙地球科学専攻 越本 直季 招へい研究員、鈴木 大介 助教
9月8日	インギンチャクの体の構造に“相称性の二刀流”を発見 —左右相称と放射相称の両方をこなす体づくりの数理モデル—	生物科学専攻 サフィエ・エスラ・サルベル 招へい研究員、 藤本 仰一 准教授
9月22日	分子一滴で音声認識 —マテリアルから知能を引き出す!—	化学専攻 松本 卓也 教授、宇佐美 雄生 招へい研究員
9月27日	合成アルカリゲネス菌リピドAの優れたアジュバント活性を証明 —有効性・安全性の高い次世代ワクチンの開発に光—	化学専攻 深瀬 浩一 教授
11月4日	一般相対性理論におけるエネルギー概念の革新 —ブラックホールの新しい描像と新しい保存量—	物理学専攻 大野木 哲也 教授
12月24日	交流電場を用いた新規測定技術により テラヘルツ電磁波の非相反線二色性の観測に成功	先端強磁場科学 研究センター 萩原 政幸 教授、嶋海 康雄 准教授
2022年 1月7日	発見!溶液の電気化学電流にリザーブ計算能力 —水とイオンでニューラルネットワーク計算を実現へ—	化学専攻 赤井 恵 教授
1月13日	蛍光タンパク質の蛍光強度を維持したまま組織・器官を 透過化できる動物共通の透明化法開発に成功 —農作物の品種改良や脳の診断法開発に貢献—	生物科学専攻 坂本 勇貴 助教
2月8日	伝導電子と局在スピン・軌道が織りなす悪魔の調律 —多極子の衣をまとった電子「多極子ポーロン」を発見—	物理学専攻 宮坂 茂樹 准教授、田島 節子 名誉教授
2月8日	進化は変異に対する頑健性を強化し、新しい形質の出現を遅らせる —進化現象を数理的に研究するための新しい計算手法—	サイバーメディアセンター 物理学専攻 菊池 誠 教授(理学研究科兼任) 金子 忠宗 氏(研究当時:博士後期課程)
2月9日	皮膚炎が波のように拡大する原理を予測 —計算機シミュレーションから治療戦略を提案—	生物科学専攻 須藤 麻希 氏 (博士後期課程)、 藤本 仰一 准教授
2月9日	最適な根の長さとは —植物が環境に応じて根の長さを決める仕組み—	生物科学専攻 坂本 勇貴 助教



豊中キャンパスMAP



① 附属図書館(総合図書館)

② 人文学研究科/文学研究科・文学部

③ 法学研究科・法学部

④ 経済学研究科・経済学部

⑤ 理学研究科・理学部

⑥ 基礎工学研究科・基礎工学部

⑦ 人文学研究科/言語文化研究科

⑧ 国際公共政策研究科

⑨ 高等司法研究科

⑩ 総合学術博物館

⑪ キャンパスライフ健康支援・相談センター

⑫ 数理・データ科学教育研究センター

⑬ 科学機器リノベーション・工作支援センター/
エマージングサイエンスデザインR3センター/量子情報・量子生命研究センター

⑭ 知的基盤総合センター

⑮ 全学教育推進機構

⑯ COデザインセンター

⑰ 適塾記念センター

豊中キャンパス、待兼山の環境と歴史

理学研究科・理学部は、待兼山の豊中キャンパスにあります。待兼山は、北摂の中心都市、豊中市北部にあり、最頂部の標高は約77mです。東は千里丘陵、西は六甲山脈、北は箕面の山々、南ははるかに大阪市が望まれ、その間を摂津平野が起伏し、人家がちらばっています。夕方ともなれば、丹精とりどりの灯火が遠く近くきらめき、美しい様を眺めることができます。

待兼山あたりは古くから交通の要所でもあり、地質学、考古学、動植物や歴史、文学などいろいろな点で興味深く由緒ある地域です。昭和39年、理学部建設工事中に古代ワニの化石が発見され、ほぼ完全に復元されて(全長8m)「マチカネワニ」と命名されました。40万年前、このあたりは湿地で、マチカネワニやトウヨウゾウが生息していたのです。

待兼山という名は、古典の中で「山はまちかね山」(枕草子)「津の国の待兼山の呼子鳥」(古今和歌六帖)などとみえ、歌枕としてもつかわれています。

昭和55年から年次計画として重点的にキャンパスの緑化、整備が進められ、四季折々の花が咲く学園らしい環境を醸し出しています。

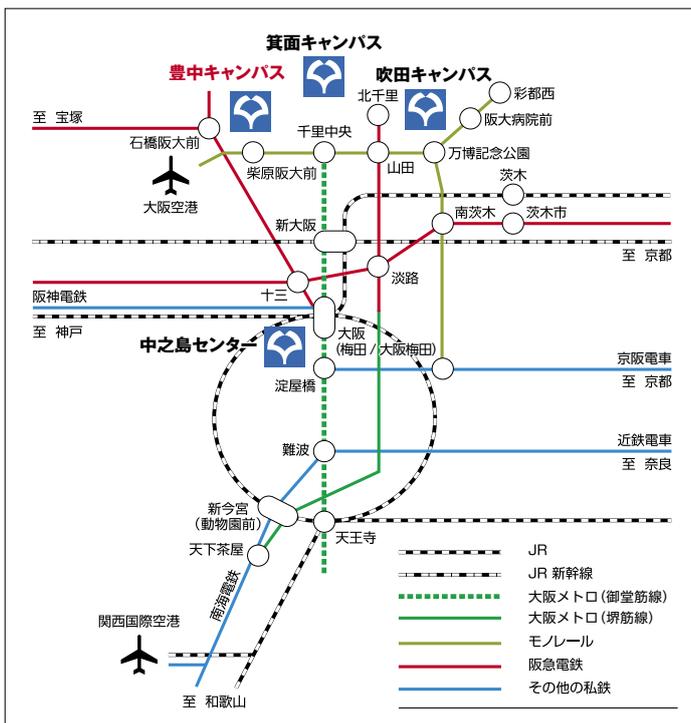
理学研究科MAP



建 物		(2022年6月1日現在)	
建築面積 (㎡)		延床面積 (㎡)	
13,764		57,755	

- ▲ 出入口
- P** 駐車場
- エレベーター

アクセス



主要駅 空港からのアクセス

豊中キャンパス

- 阪急大阪梅田、JR大阪駅より(約40分)**
阪急電鉄宝塚線「石橋阪大前」駅下車、東へ徒歩約20分
- JR新大阪駅より(約1時間)**
大阪メトロ御堂筋線で「千里中央」駅下車
大阪モノレールで大阪空港方面「柴原阪大前」駅下車、
柴原阪大前駅より徒歩5分
- 大阪伊丹空港より(約30分)**
大阪モノレールで門真市方面「柴原阪大前」駅下車、
柴原阪大前駅より徒歩5分
- 関西国際空港より(約2時間)**
南海電鉄で「難波」駅下車、大阪メトロ御堂筋線で「千里中央」駅下車、
大阪モノレールで大阪空港方面「柴原阪大前」駅下車、
柴原阪大前駅より徒歩5分
または、空港リムジンバス伊丹空港行きで伊丹空港下車、
大阪モノレール門真市方面「柴原阪大前」駅下車、
柴原阪大前駅より徒歩5分



OSAKA UNIVERSITY
School of Science
Graduate School of Science

知を拓き、未来へ紡ぐ

理学とは、多様な自然の営みに誠実に向き合い、真理を探究していく学問です。

その自然は元来、学問領域を超え、秩序だって調和しています。

この様を透明感ある球体として表現しました。

広範な自然科学の素養、柔軟な発想力、豊かな社会識見を持つ

『光る』人材を金色の“S”(Science)で表し、

世界トップレベルの基礎科学研究を推進することで、

人類の知に貢献する大阪大学理学部、理学研究科の姿をイメージしました。

SYMBOL MARK DESIGN / CONCEPT
Forest Breeze

大阪大学大学院理学研究科・理学部

令和4年7月 発行

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1

Tel 06-6850-6111

<https://www.sci.osaka-u.ac.jp/>

